

■事績

かつてオリンピックの有力候補にも挙げられた父・三喜夫さんの影響で3歳の時に伊予柔道会で柔道を始めた。小学校時代は愛媛県青少年柔道大会の学年別大会で毎年のように優勝を飾り、中学生の時には全国中学校柔道大会で2位に入賞するなど、泣き言を言わない努力家として着実に成長していった。新田高校ではジュニア国際3位、インターハイ2位の実績を残し、強豪の山梨学院大学に進学。フランスジュニア国際で優勝を飾ったほか、講道館杯では親子二代での優勝を果たした。

去年9月の世界選手権では世界ランキング1位の福見友子選手を破り初優勝。最激戦区といわれる48kg級でロンドンオリンピック日本代表の最有力候補に躍り出た。今春、実業団の強豪コマツに入社し、夢の五輪金メダルを目指す。

素早い動きから繰り出される足技や得意の背負い投げ、試合終了まで攻め続ける強靱なスタミナが特徴で、柔軟性やバランスに優れた体で立ち技だけでなく寝技もこなす。小柄な体が生み出す力強い組み手は後進の励みになっており、世界の頂点を歩む姿に県民の大きな期待が寄せられている。

■主な戦績

- ・平成15年 全国中学校柔道大会2位
- ・平成18年 韓国ジュニア国際柔道大会3位
- ・ 〃 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会2位
- ・平成19年 フランスジュニア国際柔道大会優勝
- ・ 〃 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会優勝
- ・平成20年 全日本学生柔道体重別選手権大会優勝
- ・平成21年 ユニバーシアード競技大会優勝
- ・平成22年 ワールドマスターズ優勝
- ・ 〃 世界柔道選手権大会優勝